

災害(地震)時の安否確認方法を事前に決めておきましょう

災害が発生すると電話はとても繋がりにくくなります。また、大地震の際は、交通手段が途絶え、しばらく帰宅できない場合も考えられます。災害発生時の連絡手段を事前に考えてみましょう。



安否確認手段を決めておく

災害時に家族や自宅の状況が分からないと不安になり急いで帰りたいくなります。無事がすぐにわかるよう、電話を直接かける以外の安否確認手段をご紹介します。

電話を直接かける以外の安否確認手段の例

◆災害用伝言ダイヤル【171】

電話機から音声の伝言を録音・再生するサービス

◆災害用伝言版

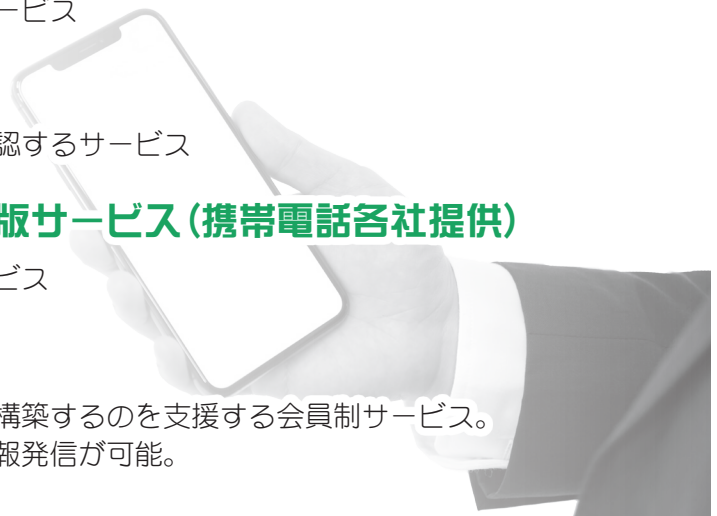
インターネット上で、安否情報を登録・確認するサービス

◆携帯電話を利用した災害用伝言版サービス(携帯電話各社提供)

携帯電話で安否情報を登録・確認するサービス

◆SNS

インターネット上で社会的ネットワークを構築するのを支援する会員制サービス。多数の利用者に対するリアルタイムでの情報発信が可能。



家族や周りの人たちと話し合う

災害発生時の連絡手段や交通手段が途絶え、しばらく帰宅できないときの対応について、家族で話し合っておきましょう。

また、自宅や近所にいる子どもや高齢者への支援策について、周りの人たちと話し合うなど、地域の連携を深めておくことも重要な取り組みの一つです。

防災行政無線テレホンサービス(自動音声応答装置)

0180 (99) 2121

上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。